

車いすの学生さんに聞きました！

みなさんは車いすで生活されている方を見たことはありますか？街で見かけるだけでは、その方がどのような生活を送っているかを知るのは難しいと思います。

そこで、今回私たちは車いすユーザーへの理解を深めるため、電動車いすで生活をしている中京大学心理学部心理学科1年の佐々木杏夏さんにお話をお聞きしました。この記事を読んで、実際の暮らしを少しでも知っていただけたら幸いです。



Q.今までの生活と大学生活の違いは？

A.公共交通機関を利用すること

高校までは家からバス停まで送ってもらい、そこからはスクールバスで登校していましたが、大学生になってからは**電車とバスを利用して1時間半ほどかけて大学へ向かっています。**

電車やバスに乗るときはスロープが必須です。初めは人見知りをしてしまい乗り継ぎを不安に感じていましたが、今では気軽に声をかけられるようになりました。また、**バスの乗り降りでは手助けが必要**となるため、毎日決まった時間帯のものに乗っています。そのため、1限に出るためには6:30に家を出なければいけませんが、毎回4人ほどの人がバスについてくださり乗車をサポートしてくださいます。



Q. 車いすユーザーに使いやすい施設とは？

A. 外開きのドアや狭い場所での移動は大変

引っ張るタイプ(外開き)のドアは開ける際に車いすとぶつかってしまうため、とても難しいです。また、入り組んだ場所にある多目的トイレは何かあったときに**助けを呼びづらい**と感じてしまいます。なので、低い位置にブザーを設置したり、数を増やすなどの対策をしていただくとありがたいです。

中京大学内はスロープがあるため、エレベーターなども使いながらほとんどの場所へ行くことができます。ただ、**遠回りして時間がかかってしまう**のが難点です。



Q. 車いすの不便な点は？

A. 荷物を抱えての移動やバッテリー

電動車いすには後方への転倒防止バーがついています。荷物を車いすの後ろに掛けるとバーが作動してしまうので、通学時にはパソコンが入った**重い荷物を膝に抱えて移動**しています。

また、**日常生活がバッテリーに左右**されてしまうのも難点です。電動車いすは充電式のバッテリーで動いています。このバッテリーは充電が2日ほど持ちますが、充電を忘れてしまったときはなるべく移動しないように過ごします。予備のバッテリーを持ち歩いている人もいますが、値段も高く、それ自体が大きな荷物になるので簡単には買えません。



Q. 中京大学の学生に伝えたいことは？

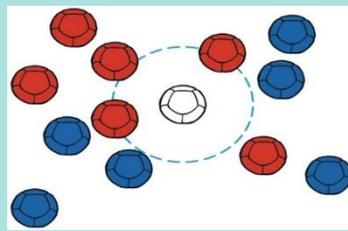
A. 「このような人がいる」と知ってほしい

雨の日の生活は大変です。傘を使わず、撥水の服や荷物カバーを駆使して登校しています。見慣れない姿かもしれませんが、まずは皆さんに「**このような人がいる**」と知っていただきたいです。

今月の1 Word！「ボッチャ」

ボッチャとは、重度脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障害者のために考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目です。ジャックボールと呼ばれる白いボールに、どれだけ自分のカラーボールを近づけることができるかを競います。ユニバーサルスポーツとしても注目されており、**老若男女、障害の有無にかかわらず競い合うことができます。**

2021年の東京パラリンピックでは、杉村英孝選手が個人戦で日本人初の金メダルを獲得しました。



Twitter はじめました

ダイバーシティ委員会では活動をより多くの方に知ってもらうことを目的として、Twitterでの投稿を開始しました。

随時更新していく予定なので、ぜひチェックしてみてください！



メンバー随時募集中！

下記 URL から見学・参加の申し込みを受け付けています。みなさまのお申込みお待ちしております！

<https://forms.gle/8VDLRZsg3J2S3joYA>

次号 1月初旬配信予定
学生生活に関するアンケート結果